

# SB-H50

## 周辺機器制御ガイド

### JET-S 端末編

---

概要

JET-S 端末の制御方法

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で本製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

## 商標について

JET-S は JET-STANDARD の略称です。JET-STANDARD は、株式会社カードネットワークの登録商標です。

「銀聯」「UnionPay」は、CHINA UNIONPAY CO., Ltd. の登録商標です。

「楽天 Edy（ラクテンエディ）」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

「iD」「d ポイント」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

nanaco は、株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

QUICPay は、株式会社ジェーシービーの登録商標です。

Suica は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

WAON は、イオン株式会社の登録商標です。

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©セイコーエプソン株式会社 2025

## 變更履歷

[illegible]

# 目次

変更履歴	3
1. 適用	6
2. 関連文書	6
3. 本書について	7
3.1 本書の目的	7
3.2 本書の構成	7
4. 概要	8
4.1 環境設定	9
デバイス登録	9
5. JET-S 端末の制御方法	10
5.1 JET-S 端末の設定	10
5.2 シーケンス図	10
5.3 ポイント・QR コード決済	12
ポイント ID 授受機能 (CT-6100 のみ)	12
5.4 マルチ共用機能	13
5.5 CAT メッセージデータ	14
Authorize 系メッセージ	14
authorizesales	15
authorizevoid	15
authorizerefund	16
authorizerecompletion	16
accessdailylog	17
clearoutput	18
ondirectio	18
onstatusupdate	18
5.6 DirectIO コマンド一覧	19
DirectIO 接続確認	20
DirectIO 支払種別入力の有無設定	21
DirectIO 支払種別入力の有無取得	22
DirectIO 応答電文データ取得	23
DirectIO QUICPay 履歴照会	24
DirectIO シーケンス番号取得	25
DirectIO シーケンス番号設定	26
DirectIO ポイント付与・コード支払い売上	27
DirectIO ポイント加算	30
DirectIO ポイント交換	32
DirectIO ポイント取消・コード支払い取消	34
DirectIO ポイント DLL・コード支払い DLL	36
DirectIO WAON 現金チャージ取消	37
5.7 イベントにセットされるパラメータ	38
5.8 決済実行後の additional_security_information の値	42
5.9 デバイスベンダー定義エラーコード一覧	43

6.	ペーパーレス機能をご利用上のご注意事項 .....	44
----	---------------------------	----

# 1.適用

---

本周辺機器制御ガイドは、以下の機種に適用します。

SB-H50 Firmware :02.00 以降

# 2.関連文書

---

ePOS-Device XML ユーザーズマニュアル

Epson ePOS SDK for JavaScript ユーザーズマニュアル

Epson ePOS SDK for iOS ユーザーズマニュアル

Epson ePOS SDK for Android ユーザーズマニュアル

SB-H50 詳細取扱説明書

SB-H50 周辺機器制御ガイド

各周辺機器の詳細仕様については、周辺機器のマニュアルまたは仕様書を参照してください。

## 3.本書について

---

### 3.1 本書の目的

本書は ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK を利用して、ハブボックス SB-H50 に接続された JET-S 端末（CT-6100 Type-B、JT-VT10 Type-B）を制御するために必要な補足情報を説明します。

### 3.2 本書の構成

本書の構成は以下の通りです。

- 概要
  - 環境設定
- JET-S 端末の制御方法
  - JET-S 端末の設定
  - シーケンス図
  - ポイント・QR コード結成
  - マルチ共用機能
  - CAT メッセージデータ
  - DirectIO コマンド一覧
  - イベントにセットされるパラメータ
  - 決済実行後の additional\_security\_information の値
  - デバイスベンダー定義エラーコード一覧
- ペーパーレス機能をご利用上のご注意事項

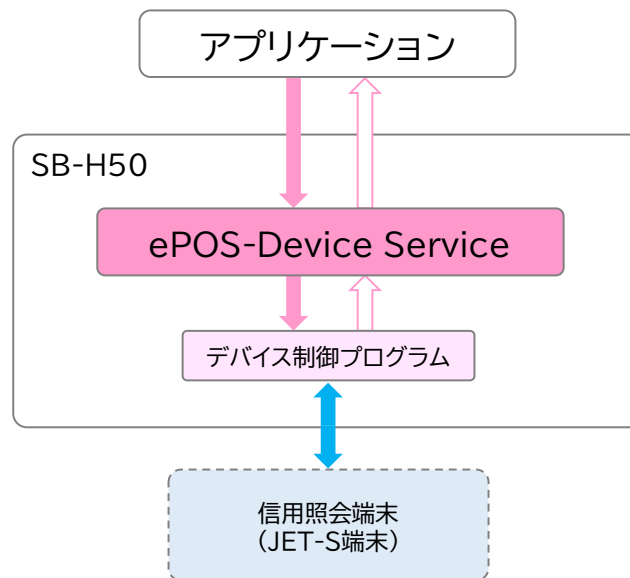
## 4.概要

SB-H50 では、ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK を利用して、JET-S 端末を制御できます。

SB-H50 と各種周辺機器を制御するアプリケーションの開発については、ePOS-Device XML や Epson ePOS SDK のユーザーズマニュアルを参照してください。

本書は、SB-H50 を使用して JET-S 端末を制御する際の固有仕様について、上記のユーザーズマニュアルや周辺機器制御ガイドを補足するものです。

信用照会端末制御の各社共通仕様については SB-H50 周辺機器制御ガイドを参照してください。



### デバイス制御プログラムとは

ePOS-Device Service からの命令を周辺機器に送り、実行結果を返す実行ファイルです。

SB-H50 は JET-S 端末を制御可能なデバイス制御プログラムが内蔵されています。



## 4.1 環境設定

SB-H50 から JET-S 端末を制御するために、必要な初期設定について説明します。

### デバイス登録

使用する周辺機器は、SB-H50 に登録する必要があります。これらの登録や設定には、Web Config を使用します。

Web Config の使用方法は SB-H50 周辺機器制御ガイドを参照してください。

TM-i設定

適用して再起動

インフォメーション

基本情報

ネットワーク

デバイス登録

プリンター

キー入力デバイス

シリアルデバイス

デバイス制御プログラム

サービス

ePOS-Print

ePOS-Device

サーバーダイレクトプリント

ステータス通知

その他の設定

プロキシ

システム

リセット

ログ

ヘルプ

デバイス管理 > デバイス制御プログラム

デバイスリスト

デバイスID	ポート	制御プログラム	通信速度	ストップビット	データビット	フロー制御	パリティ	確認
<input type="text" value="local_cat1"/>	PhysicalPort1	OposCT-6100BHandler	9600	1	8	None	None	テスト
<input type="text" value="local_cat2"/>	PhysicalPort2	OposJT-VT10BHandler	9600	1	8	None	None	テスト

備考：設定を変更したときは、[適用して再起動]を押してからテストしてください。

自動つり残機設定

モード不一致補正	補正しない
預かり金の返却方法	枚数を最小にして返却

JET-S 端末を使用するには、[デバイスリスト]に表示される項目を以下のように設定してください。

※設定はシリアルポートごとに行います。JET-S 端末が PhysicalPort1 または PhysicalPort2 のどちらに接続されているか確認してから設定を行ってください。

PhysicalPort1 は SB-H50 背面のシリアルコネクタ⑪に対応します。PhysicalPort2 は SB-H50 背面のシリアルコネクタ⑫に対応します。

設定項目	説明
デバイス ID	Epson ePOS SDK または ePOS-Device XML で使用するデバイス ID を設定します。
制御プログラム	CT-6100 を使用する場合：OposCT-6100BHandler を選択します。 JT-VT10 を使用する場合：OposJT-VT10BHandler を選択します。
ボーレート	JET-S 端末の設定と同じボーレートを選択してください。 デフォルトは 9600bps です。
ストップビット	1 を選択します。
データビット	8 を選択します。
フロー制御	None を選択します。
パリティ	JET-S 端末の設定と同じパリティを選択してください。 デフォルトは None です。

## 5.JET-S 端末の制御方法

本章では、JET-S 端末を SB-H50 で制御するための各種設定や、ePOS-Device XML メッセージデータの補足情報を説明します。  
ePOS-Device XML メッセージデータの仕様は ePOS-Device XML ユーザーズマニュアルを参照してください。

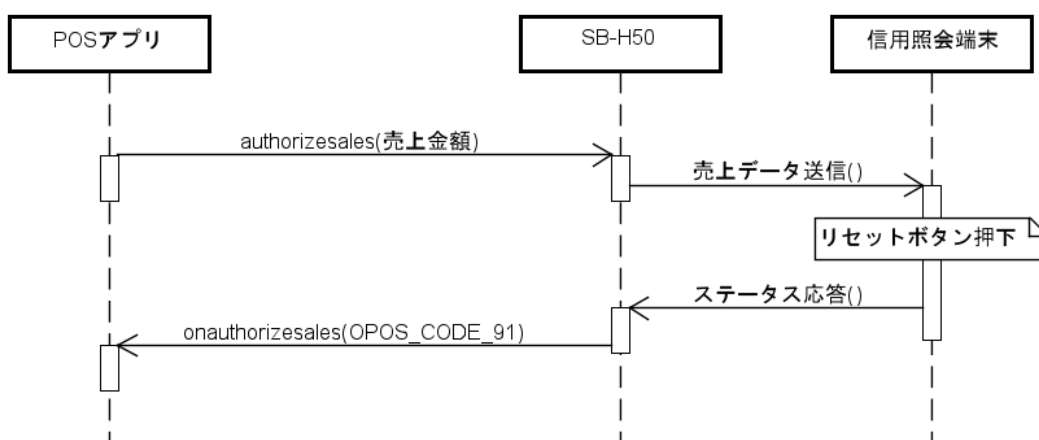
### 5.1 JET-S 端末の設定

SB-H50 と JET-S 端末の POS 連動を行うため、JET-S 端末の設定を以下のように設定してください。  
設定項目の詳細や設定方法は日本カードネットワーク様発行の POS 連動の手引きをご参照ください。

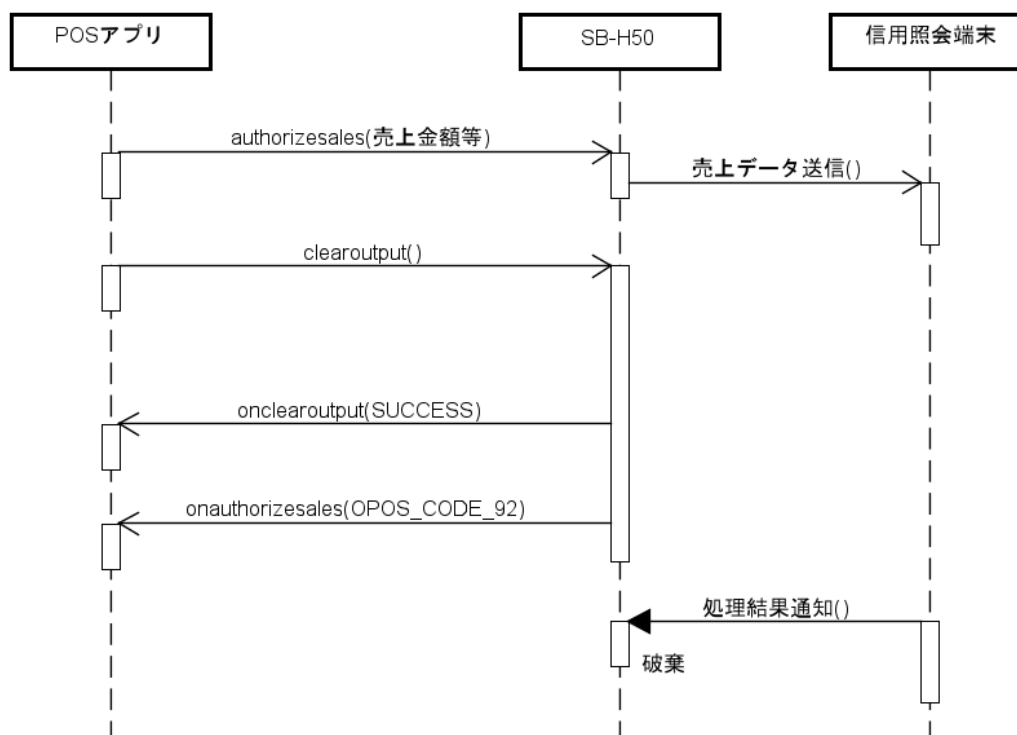
項目名	設定値
POS 連動有無	あり (タイプ B)
POS 連動タイプ	日計連動
POS データ収集機能	有効

### 5.2 シーケンス図

- 基本的な売上業務、タイムアウト発生時のシーケンス図は SB-H50 周辺機器制御ガイドを参照してください。
- 売上業務実行後、端末側でリセットボタンが押されて処理が中断された場合、以下のシーケンスでエラーが通知されます。



- 売上業務実行後、clearoutput メッセージを送信した場合、以下のシーケンスでメッセージが通知されます。



## 5.3 ポイント・QRコード決済

ポイント業務と QR コード決済業務の実行方法は端末によって異なります。

業務種別	CT-6100	JT-VT10
ポイント(※3)	DirectIO ポイント付与・コード支払い売上(※2) DirectIO ポイント加算 DirectIO ポイント交換 DirectIO ポイント取消・コード支払い売上取消(※2)	非対応
QR コード決済	DirectIO ポイント付与・コード支払い売上(※2) DirectIO ポイント取消・コード支払い売上取消(※2)	authorizesales(※1) authorizevoid(※1)

※1：service 要素には“point”を指定してください(“qr”ではありません。)

※2：ポイント業務とコード支払い業務のどちらを実行するかは、ポイントスキームコードで区別します。詳細は各 DirectIO の説明を参照してください。

※3：ポイントは共通ポイントとなります。独自ポイントには対応していません。

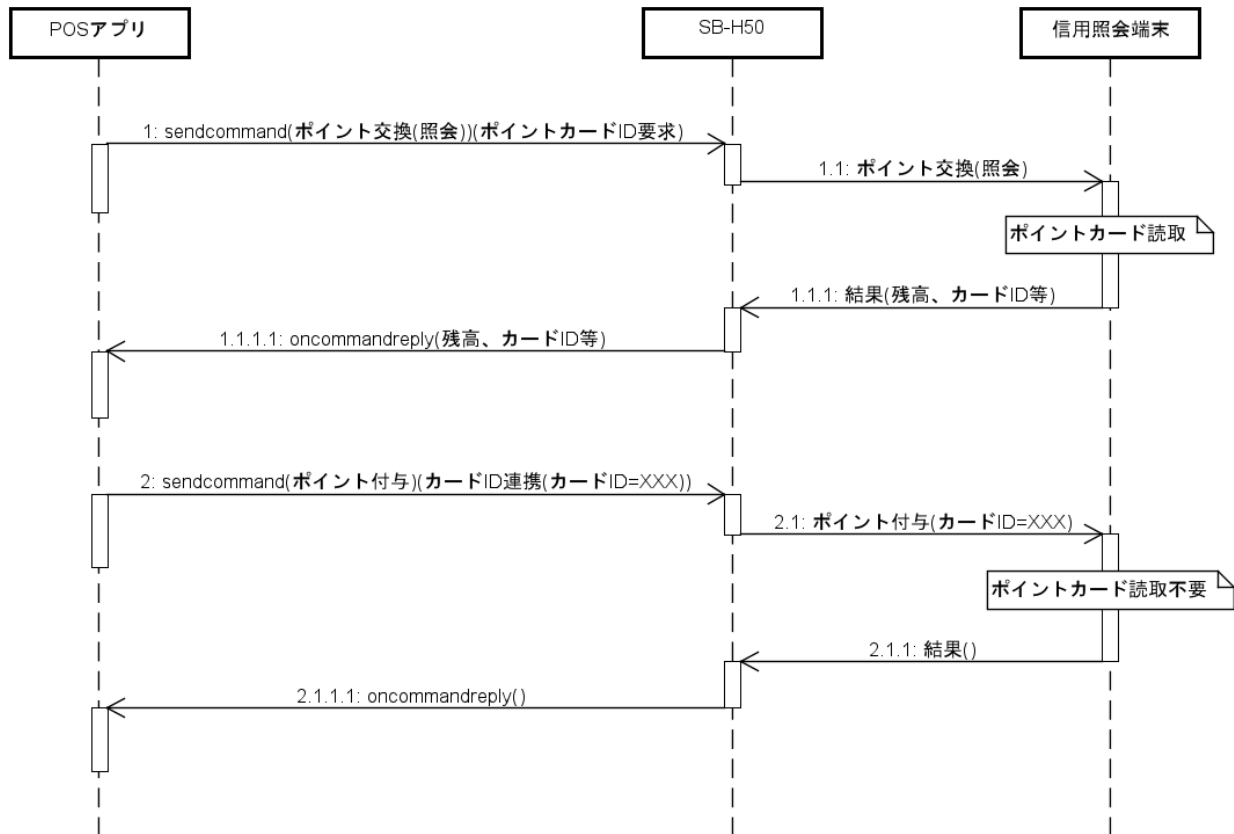
### ポイント ID 授受機能 (CT-6100 のみ)

CT-6100 のポイント業務では、ポイント ID 授受機能を使用することが可能です。

#### ポイント ID 授受機能とは

ポイント ID 授受機能を利用することで、「ポイント残高照会時」と「ポイント付与、加算・交換時」の両方でポイントカードを端末で読み取る必要がなくなります。

以下に、ポイント ID 授受機能を利用して、ポイント残高照会時に読み取ったカード ID をポイント付与で再利用するケースのシーケンス図を示します。



1. sendcommand メッセージで DirectIO ポイント交換(照会)を実行します（シーケンス図中の 1）  
このとき、string に設定する「カード ID 連携フラグ」を「1：ポイントカード ID 要求」にしてください。  
※「ポイントカード ID」「ポイントカード有効期限」「カードテーブル No.」は省略可能です。
2. oncommandreply メッセージを受信したら（シーケンス図中の 1.1.1.1）、additional\_security\_information から「カード ID」、「ポイントカード有効期限」、「カードテーブル No.」を取り出します。ポイントスキームにより、有効期限は連携されない場合があります。
3. sendcommand メッセージで DirectIO ポイント付与を実行します（シーケンス図中の 2）  
このとき、string に設定する「カード ID 連携フラグ」を「2：ポイントカード ID 連携」にしてください。  
また、「ポイントカード ID」、「ポイントカード有効期限」、「カードテーブル No.」に 2 で取得した情報を設定してください。2 で「ポイントカード有効期限」の連携がない場合はオールスペースを設定してください。

## 5.4 マルチ共用機能

SB-H50 は JET-S 端末のマルチ共用機能に対応しています。

マルチ共用機能とは、POS から売上・取消を実行したとき、端末に登録されている実行可能な業務を決済端末の画面上で選択して実行する機能です。POS 側で業務種別を選択する画面を実装する必要がありません。

## 5.5 CAT メッセージデータ

本章では、JET-S 端末を SB-H50 で制御するための ePOS-Device XML メッセージデータの補足について説明します。  
ここに記載のない仕様は、ePOS-Device XML ユーザーズマニュアルを参照してください。

### Authorize 系メッセージ

ここでは Authorize 系メッセージ(authorizesales, authorizevoid, authorizerefund, authorizecompletion)全般に関わる補足や注意事項について説明します。

### 使用可能な決済メディアの種類

各 Authorize 系メッセージで利用できる決済メディアの種類は以下の通りです。

決済メディアの種類	authorize sales	authorize void	authorize refund	authorize completion	send command
クレジット service:credit	✓	✓	✓	✓	-
銀聯 service:unionpay	✓	✓	✓	-	-
NFC Pay service:nfcpayment	✓	✓	✓	-	-
デビット service:debit	✓	✓	-	-	-
クレジット/デビット（マルチ共用） service:credit_debit	✓	✓	✓	✓	-
クレジット/デビット/NFC Pay (※1) service:multi	✓ JT-VT10 のみ	✓ JT-VT10 のみ	✓ JT-VT10 のみ	✓ JT-VT10 のみ	-
QR コード決済 (※2) service:point	✓ (※2) JT-VT10 のみ	✓ (※2) JT-VT10 のみ	-	-	✓ (※2) CT-6100 のみ
ポイント (※3)	-	-	-	-	✓ CT-6100 のみ
QUICPay service:quicpay	✓	✓	-	-	-
iD service:id	✓	✓	✓	-	-
nanaco service:nanaco	✓	-	-	-	-
交通系 IC service:suica	✓	✓	-	-	-
WAON service:waon	✓	✓	-	-	-

楽天 Edy service:edy	✓	-	-	-	-
-----------------------	---	---	---	---	---

※1：JT-VT10 のみ対応。JT-VT10 では「クレジット/銀聯/NFC 3 面待ち」となります。

CT-6100 でクレジット、銀聯、NFC の 3 面待ちを実施する場合は、クレジット/デビット（マルチ共用）をご利用ください。

※2：JT-VT10 は authorizesales と authorizevoid を使用し、CT-6100 は sendcommand を使用します。詳細は「DirectIO コマンド一覧」を参照してください。

※3：CT-6100 のみ対応。

## total\_amount

- JT-VT10 において、total\_amount に指定できる桁数は 7 桁（9,999,999）までです。必ず 7 桁以下の値を設定してください。
- CT-6100 において、total\_amount に指定できる桁数は 8 桁（99,999,999）までです。必ず 8 桁以下の値を設定してください。なお、8 桁金額に対応している業務種別はマルチ共用、クレジット、デビット、銀聯、NFC 機能です。それ以外の業務種別においては、必ず 7 桁以下の値を設定してください。
- 決済メディアの種類によっては決済可能金額の上限が定められています。決済可能金額の上限を超える場合はエラーとなります。各決済メディアにおける決済可能金額の上限は各サービス提供事業者様にお問い合わせください。

## amount, tax

amount, tax は使用しません。

total\_amount を使用してください。

## timeout

-1（無限待ち）を指定してください。

-1 以外を指定した場合、動作は保証されません。

## authorizesales

### additional\_security\_information の設定について

決済メディアの種類によっては authorizesales 実行時に additional\_security\_information に追加情報を設定する必要があります。以下に対象機種、決済メディアの種類と、設定すべき値の組合せ表を示します。

機種	決済メディアの種類	additional_security_information の設定値
CT-6100	クレジット/デビット(マルチ共用)	常に 1 を設定してください。

## authorizevoid

### additional\_security\_information の設定について

決済メディアの種類によっては authorizevoid 実行時に additional\_security\_information に追加情報を設定する必要があります。

す。以下に対象機種、決済メディアの種類と、設定すべき値の組合せ表を示します。

機種	決済メディアの種類	additional_security_information の設定値
CT-6100	クレジット/デビット(マルチ共用)	常に 1 を設定してください。
	WAON	取消対象 IC 通番(8 桁) POS から指定する場合：“00000001”～“00065535” POS から指定しない（端末で入力する）場合：“00000000”
JT-VT10	WAON	取消対象伝票番号(8 桁) POS から指定する場合：“00000001”～“00099999” POS から指定しない（端末で入力する）場合：“00000000”
全機種共通	QUICPay	以下の情報を順にカンマ区切りで指定します。 1.取消対象 IC 通番(4 桁) POS から指定する場合：“0001”～“9999” POS から指定しない（端末で入力する）場合：オールスペース 2.取消対象会員番号(20 桁) オールスペースを指定してください。 3.取消対象伝票番号(5 桁) POS から指定する場合：“00001”～“99999” POS から指定しない（端末で入力する）場合：オールスペース

## authorizerefund

### additional\_security\_information の設定について

決済メディアに種類によっては authorizerefund 実行時に additional\_security\_information に追加情報を設定する必要があります。以下に対象機種、決済メディアの種類と、設定すべき値の組合せ表を示します。

機種	決済メディアの種類	additional_security_information の設定値
CT-6100	クレジット/デビット(マルチ共用)	常に 1 を設定してください。

## authorizerecompletion

### additional\_security\_information の設定について

決済メディアに種類によっては authorizecompletion 実行時に additional\_security\_information に追加情報を設定する必要があります。以下に対象機種、決済メディアの種類と、設定すべき値の組合せ表を示します。

機種	決済メディアの種類	additional_security_information の設定値
CT-6100	クレジット/デビット(マルチ共用)	常に 1 を設定してください。



## ポイント日計の集計対象について

accessdailylog でポイントの日計を実行した時、onaccessdailylog メッセージで通知される集計結果は以下の通りです。  
(端末で実行された全てのポイント業務取引が対象です。)

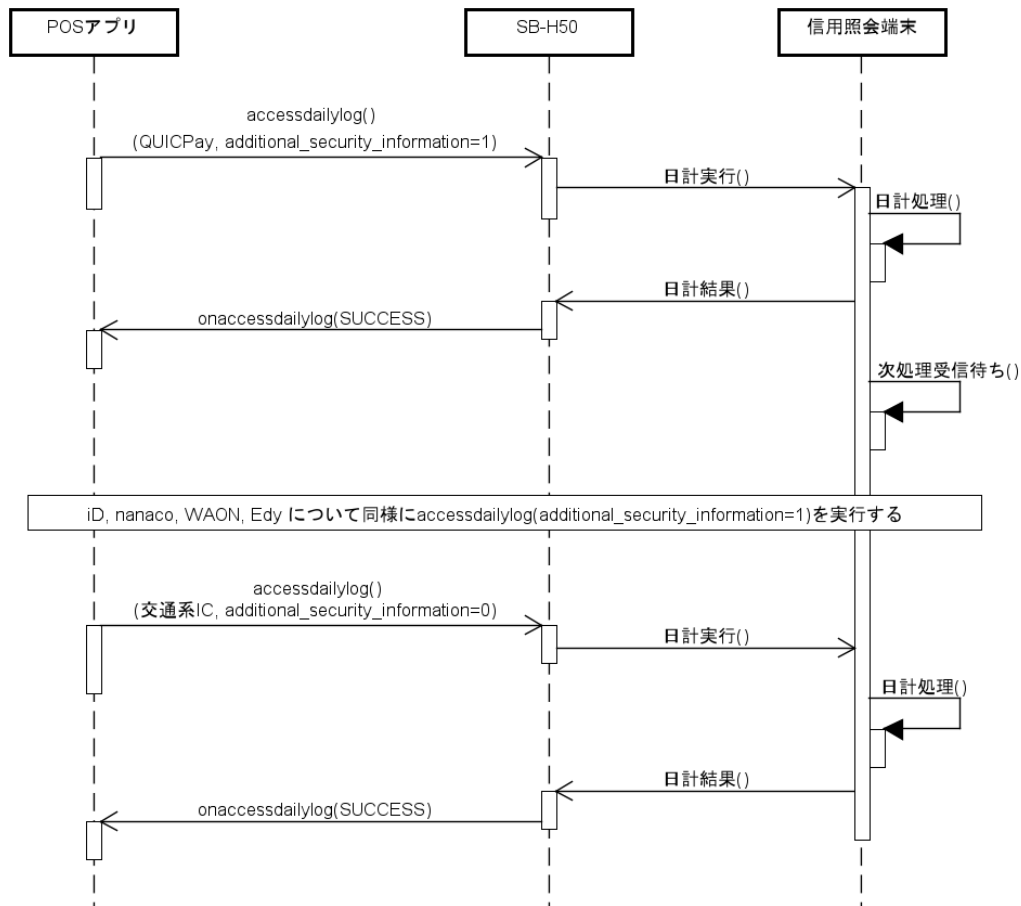
要素名	説明
sales_count	ポイント付与の合計件数
sales_amount	ポイント付与の合計金額
void_count	ポイント付与取消の合計件数
void_amount	ポイント付与取消の合計金額

## (JT-VT10)電子マネー日計実行時の additional\_security\_information の設定について

JT-VT10 で電子マネー（QUICPay、iD、nanaco、WAON、Edy、交通系 IC）の日計を実行する場合は、これらの日計を連続して実行してください。このとき、続きの日計がある場合は additional\_security\_information を 1 に設定し、最後の日計の場合は additional\_security\_information を 0 にしてください。

機種	決済メディアの種類	additional_security_information の設定値
JT-VT10	QUICPay	日計継続フラグ
	iD	0 : 継続なし
	nanaco	1 : 継続あり
	WAON	
	Edy	
	交通系 IC	

以下に、JT-VT10 の電子マネー日計のシーケンス例を示します。電子マネー間の日計の順番は問いません。



備考：additional\_security\_information に 1 を指定して電子マネーの日計を実行すると、JT-VT10 は日計完了後に次の日計の受信待ち状態になります。additional\_security\_information に 0 を指定すると、JT-VT10 は待機状態に戻ります。全ての電子マネーの日計が完了していない状態で、additional\_security\_information に 0 を指定して日計を実行すると、JT-VT10 の画面に未完了の日計がある旨が表示されます。

## clearoutput

JET-S 端末での処理中に clearoutput を実行した場合、JET-S 端末からの処理結果受信待ち状態を解除し、onauthorizesales などのイベントの status でベンダー定義エラー“OPOS\_CODE\_92”を通知します。また、onclearoutput で成功を通知します。

- JET-S 端末の処理は中断されません。JET-S 端末の処理を中断する場合は、JET-S 端末本体を操作して処理を中断してください。中断方法は各 JET-S 端末のマニュアルを参照してください。

## ondirectio

JET-S 端末ではサポートしていません。

## onstatusupdate

JET-S 端末ではサポートしていません。

## 5.6 DirectIO コマンド一覧

SB-H50 では以下の DirectIO コマンドをサポートしています。

機能	コマンド番号
接続確認	1100
支払種別入力の有無設定	1101
支払種別入力の有無取得	1102
応答電文データ取得	1103
QUICPay 履歴照会	1104
シーケンス番号取得	1105
シーケンス番号設定	1106
ポイント付与・コード支払い売上 (※1)	1107
ポイント加算 (※1)	1108
ポイント交換 (※1)	1109
ポイント取消・コード支払い取消 (※1)	1110
ポイント DLL・コード支払い DLL (※1)	1111
WAON 現金チャージ取消 (※1)	1112

※1 : CT-6100 のみ対応。

## DirectIO 接続確認

信用照会端末と SB-H50 間の接続確認を実施します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1100
data	タイムアウト時間 (単位:ミリ秒) 範囲: -1, 2000~999000
string	未使用

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1100
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	空

### 備考

- 接続確認に成功した場合、status に SUCCESS が格納されます。

## DirectIO 支払種別入力の有無設定

使用したカードのカード会社の支払方法が「リボルビング」のみの場合、支払方法選択をスキップするかどうかを指定します。  
(ただし、デビット・銀聯の場合は一括固定とします。)

- Authorize 系メッセージの実行前に設定してください。
- 本設定は close\_device または disconnect を行うとデフォルトに戻ります。
- デフォルトは 0 です。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1101
data	0 : 支払種別入力なし (支払種別の選択不可) 1 : 支払種別入力あり (支払種別の選択可)
string	未使用

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1101
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	空

## DirectIO 支払種別入力の有無取得

支払種別入力の有無を取得します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1102
data	未使用
string	未使用

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1102
data	0：支払種別入力なし（支払種別の選択不可） 1：支払種別入力あり（支払種別の選択可）
string	空

## DirectIO 応答電文データ取得

信用照会端末から受信した応答電文データを取得します。

- 応答電文データの詳細は JET-S 端末のインターフェース仕様書を参照してください。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1103
data	未使用
string	未使用

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1103
data	0
string	応答電文データ

## DirectIO QUICPay 履歴照会

QUICPay の第 6 履歴までの履歴を取得します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1104
data	タイムアウト時間(ミリ秒単位)(2000~999000)
string	未使用
service	"quicpay"

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1104
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	空
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	"quicpay"
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	伝票番号
transaction_number	IC 通番
payment_condition	"electronic_money"
balance	0
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照



## DirectIO シーケンス番号取得

- DirectIO コマンド（履歴照会）実行時に送信するシーケンス番号を取得します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1105
data	未使用
string	未使用
service	“quicpay”

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1105
data	DirectIO シーケンス番号設定で設定した値
string	空
service	“quicpay”

## DirectIO シーケンス番号設定

- DirectIO コマンド（履歴照会）実行時に送信するシーケンス番号を設定します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1106
data	送信するシーケンス番号 1～9999
string	未使用
service	“quicpay”

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1106
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	空
service	“quicpay”

## DirectIO ポイント付与・コード支払い売上

(CT-6100 のみ対応)

ポイントの付与・コード支払い売上を行います。

ポイントスキームコードに"JCN0001"を指定するとコード支払いを実行します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明																										
command	1107																										
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号																										
string	以下の値を順にカンマ区切りで指定します。																										
	<table><tr><th>設定値</th><th>最大桁数</th><th>説明</th></tr><tr><td>基本ポイント対象金額</td><td>8</td><td>ポイント付与の場合 ポイント付与の対象金額 コード支払いの場合 売上金額</td></tr><tr><td>支払方法</td><td>2</td><td>「支払方法一覧」を参照 (※5)</td></tr><tr><td>ポイントスキームコード</td><td>10</td><td>コード支払いの場合 "JCN0001" ポイントの場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)</td></tr><tr><td>カード ID 連携フラグ (※3)</td><td>1</td><td>ポイント付与の場合 "0" : カード ID 連携なし "1" : ポイントカード ID 要求 "2" : ポイントカード ID 連携 コード支払いの場合 空</td></tr><tr><td>ポイントカード ID (※4)</td><td>20</td><td>ポイント付与の場合 連携するポイントカード ID コード支払いの場合 空</td></tr><tr><td>ポイントカード有効期限 (※4)</td><td>4</td><td>ポイント付与の場合 連携するポイントカード有効期限またはオールスペース コード支払いの場合 空</td></tr><tr><td>カードテーブル No. (※4)</td><td>3</td><td>ポイント付与の場合 連携するカードテーブル No. (※2) コード支払いの場合 空</td></tr></table>	設定値	最大桁数	説明	基本ポイント対象金額	8	ポイント付与の場合 ポイント付与の対象金額 コード支払いの場合 売上金額	支払方法	2	「支払方法一覧」を参照 (※5)	ポイントスキームコード	10	コード支払いの場合 "JCN0001" ポイントの場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)	カード ID 連携フラグ (※3)	1	ポイント付与の場合 "0" : カード ID 連携なし "1" : ポイントカード ID 要求 "2" : ポイントカード ID 連携 コード支払いの場合 空	ポイントカード ID (※4)	20	ポイント付与の場合 連携するポイントカード ID コード支払いの場合 空	ポイントカード有効期限 (※4)	4	ポイント付与の場合 連携するポイントカード有効期限またはオールスペース コード支払いの場合 空	カードテーブル No. (※4)	3	ポイント付与の場合 連携するカードテーブル No. (※2) コード支払いの場合 空		
設定値	最大桁数	説明																									
基本ポイント対象金額	8	ポイント付与の場合 ポイント付与の対象金額 コード支払いの場合 売上金額																									
支払方法	2	「支払方法一覧」を参照 (※5)																									
ポイントスキームコード	10	コード支払いの場合 "JCN0001" ポイントの場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)																									
カード ID 連携フラグ (※3)	1	ポイント付与の場合 "0" : カード ID 連携なし "1" : ポイントカード ID 要求 "2" : ポイントカード ID 連携 コード支払いの場合 空																									
ポイントカード ID (※4)	20	ポイント付与の場合 連携するポイントカード ID コード支払いの場合 空																									
ポイントカード有効期限 (※4)	4	ポイント付与の場合 連携するポイントカード有効期限またはオールスペース コード支払いの場合 空																									
カードテーブル No. (※4)	3	ポイント付与の場合 連携するカードテーブル No. (※2) コード支払いの場合 空																									

service	"point"
---------	---------

※1：オールスペースまたはオール"0"を指定するとスキーム選択画面が端末画面上に表示されます。ただし、ポイント ID 授受機能による ID 連携を行う場合はポイントスキームコードを指定してください。

※2：指定可能な値については日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

※3：カード ID 連携については「ポイント ID 授受機能」を参照してください。

※4：カード ID 連携フラグ="2"の場合のみ指定します。それ以外は空文字列を指定してください。

※5：カード ID 連携フラグ="2"の場合は"01"をセットしてください。

## 支払方法一覧

※ポイント ID POS 連携

設定値	支払方法
01	クレジット
02	デビット
03	QUICPay
04	NFC ペイメント
05	nanaco
06	交通系 IC
07	楽天 Edy
08	iD
09	WAON
10	銀聯
11	PiTaPa
12	ポイント／ギフト 1
13	ポイント／ギフト 2
14	ポイント／ギフト 3
15	ポイント／ギフト 4
16	ポイント／ギフト 5
17	ポイント／ギフト 6
18	ポイント／ギフト 7
19	ポイント／ギフト 8
20	予約
21～30	任意の支払方法

## oncommandreply の内容

パラメータ	説明
status	結果
command	1107
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号

service	"point"
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	""
transaction_number	""
payment_condition	"other"
balance	0
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照

## DirectIO ポイント加算

(CT-6100 のみ対応)

ポイントの加算を行います。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明																							
command	1108																							
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号																							
string	以下の値を順にカンマ区切りで指定します。 <table><tr><th>設定値</th><th>最大桁数</th><th>説明</th></tr><tr><td>今回ポイント合計</td><td>8</td><td>加算ポイント合計</td></tr><tr><td>ポイントスキームコード</td><td>10</td><td>使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)</td></tr><tr><td>カード ID 連携フラグ (※3)</td><td>1</td><td>“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携</td></tr><tr><td>ポイントカード ID (※4)</td><td>20</td><td>連携するポイントカード ID</td></tr><tr><td>ポイントカード有効期限 (※4)</td><td>4</td><td>連携するポイントカード有効期限またはオールスペース</td></tr><tr><td>カードテーブル No. (※4)</td><td>3</td><td>連携するカードテーブル No. (※2)</td></tr></table>			設定値	最大桁数	説明	今回ポイント合計	8	加算ポイント合計	ポイントスキームコード	10	使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)	カード ID 連携フラグ (※3)	1	“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携	ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID	ポイントカード有効期限 (※4)	4	連携するポイントカード有効期限またはオールスペース	カードテーブル No. (※4)	3	連携するカードテーブル No. (※2)
設定値	最大桁数	説明																						
今回ポイント合計	8	加算ポイント合計																						
ポイントスキームコード	10	使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)																						
カード ID 連携フラグ (※3)	1	“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携																						
ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID																						
ポイントカード有効期限 (※4)	4	連携するポイントカード有効期限またはオールスペース																						
カードテーブル No. (※4)	3	連携するカードテーブル No. (※2)																						
service	“point”																							

※1: オールスペースまたはオール"0"を指定するとスキーム選択画面が端末画面上に表示されます。ただし、ポイント ID 授受機能による ID 連携を行う場合はポイントスキームコードを指定してください。

※2: 指定可能な値については日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

※3: カード ID 連携については「ポイント ID 授受機能」を参照してください。

※4: カード ID 連携フラグ="2"の場合のみ指定します。それ以外は空文字列を指定してください。

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1108
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	"point"
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	""
transaction_number	""
payment_condition	"other"
balance	0

additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照
---------------------------------	--

## DirectIO ポイント交換

(CT-6100 のみ対応)

ポイントの交換・照会・減算を行います。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明																										
command	1109																										
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号																										
string	以下の値を順にカンマ区切りで指定します。 <table><tr><th>設定値</th><th>最大桁数</th><th>説明</th></tr><tr><td>今回ポイント合計</td><td>8</td><td>交換または減算の場合 今回ポイント合計 照会の場合 オール"9"</td></tr><tr><td>ポイントスキームコード</td><td>10</td><td>使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)</td></tr><tr><td>交換種別</td><td>2</td><td>"00": 通常 "10": 照会のみ "11": 減算のみ</td></tr><tr><td>カード ID 連携フラグ (※3)</td><td>1</td><td>"0": カード ID 連携なし "1": ポイントカード ID 要求 "2": ポイントカード ID 連携</td></tr><tr><td>ポイントカード ID (※4)</td><td>20</td><td>連携するポイントカード ID</td></tr><tr><td>ポイントカード有効期限 (※4)</td><td>4</td><td>連携するポイントカード有効期限またはオールスペース</td></tr><tr><td>カードテーブル No. (※4)</td><td>3</td><td>連携するカードテーブル No. (※2)</td></tr></table>			設定値	最大桁数	説明	今回ポイント合計	8	交換または減算の場合 今回ポイント合計 照会の場合 オール"9"	ポイントスキームコード	10	使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)	交換種別	2	"00": 通常 "10": 照会のみ "11": 減算のみ	カード ID 連携フラグ (※3)	1	"0": カード ID 連携なし "1": ポイントカード ID 要求 "2": ポイントカード ID 連携	ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID	ポイントカード有効期限 (※4)	4	連携するポイントカード有効期限またはオールスペース	カードテーブル No. (※4)	3	連携するカードテーブル No. (※2)
設定値	最大桁数	説明																									
今回ポイント合計	8	交換または減算の場合 今回ポイント合計 照会の場合 オール"9"																									
ポイントスキームコード	10	使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)																									
交換種別	2	"00": 通常 "10": 照会のみ "11": 減算のみ																									
カード ID 連携フラグ (※3)	1	"0": カード ID 連携なし "1": ポイントカード ID 要求 "2": ポイントカード ID 連携																									
ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID																									
ポイントカード有効期限 (※4)	4	連携するポイントカード有効期限またはオールスペース																									
カードテーブル No. (※4)	3	連携するカードテーブル No. (※2)																									
service	"point"																										

※1: オールスペースまたはオール"0"を指定するとスキーム選択画面が端末画面上に表示されます。ただし、ポイント ID 授受機能による ID 連携を行う場合はポイントスキームコードを指定してください。

※2: 指定可能な値については日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

※3: カード ID 連携については「ポイント ID 授受機能」を参照してください。

※4: カード ID 連携フラグ="2"の場合のみ指定します。それ以外は空文字列を指定してください。

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1109
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	"point"



account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	""
transaction_number	""
payment_condition	"other"
balance	0
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照

## DirectIO ポイント取消・コード支払い取消

(CT-6100 のみ対応)

ポイントの付与取消・加算取消・交換取消またはコード支払い取消を行います。

ポイントスキームコードに"JCN0001"を指定するとコード支払い取消を実行します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明																										
command	1110																										
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号																										
string	以下の値を順にカンマ区切りで指定します。																										
	<table><thead><tr><th>設定値</th><th>最大桁数</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>基本ポイント対象金額</td><td>8</td><td>ポイント付与取消の場合 取り消す基本ポイント対象金額 コード支払い取消の場合 取り消す売上金額 ポイント加算取消・交換取消の場合 空</td></tr><tr><td>取消元今回ポイント合計</td><td>8</td><td>ポイント加算取消・交換取消の場合 取り消すポイント合計 ポイント付与取消・コード支払い取消の場合 空</td></tr><tr><td>支払方法</td><td>2</td><td>ポイント付与取消の場合 「DirectIO ポイント付与・コード支払い売上」の「支払方法一覧」を参照 ポイント付与取消以外の場合 空</td></tr><tr><td>取消種別</td><td>1</td><td>ポイント付与取消・加算取消・交換取消の場合 “0”：付与取消 “1”：加算取消 “2”：交換取消 コード支払い取消の場合 空</td></tr><tr><td>ポイントスキームコード</td><td>10</td><td>コード支払い取消の場合 “JCN0001” ポイント取消の場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)</td></tr><tr><td>カード ID 連携フラグ (※3)</td><td>1</td><td>“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携</td></tr><tr><td>ポイントカード ID (※4)</td><td>20</td><td>連携するポイントカード ID</td></tr></tbody></table>	設定値	最大桁数	説明	基本ポイント対象金額	8	ポイント付与取消の場合 取り消す基本ポイント対象金額 コード支払い取消の場合 取り消す売上金額 ポイント加算取消・交換取消の場合 空	取消元今回ポイント合計	8	ポイント加算取消・交換取消の場合 取り消すポイント合計 ポイント付与取消・コード支払い取消の場合 空	支払方法	2	ポイント付与取消の場合 「DirectIO ポイント付与・コード支払い売上」の「支払方法一覧」を参照 ポイント付与取消以外の場合 空	取消種別	1	ポイント付与取消・加算取消・交換取消の場合 “0”：付与取消 “1”：加算取消 “2”：交換取消 コード支払い取消の場合 空	ポイントスキームコード	10	コード支払い取消の場合 “JCN0001” ポイント取消の場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)	カード ID 連携フラグ (※3)	1	“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携	ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID		
設定値	最大桁数	説明																									
基本ポイント対象金額	8	ポイント付与取消の場合 取り消す基本ポイント対象金額 コード支払い取消の場合 取り消す売上金額 ポイント加算取消・交換取消の場合 空																									
取消元今回ポイント合計	8	ポイント加算取消・交換取消の場合 取り消すポイント合計 ポイント付与取消・コード支払い取消の場合 空																									
支払方法	2	ポイント付与取消の場合 「DirectIO ポイント付与・コード支払い売上」の「支払方法一覧」を参照 ポイント付与取消以外の場合 空																									
取消種別	1	ポイント付与取消・加算取消・交換取消の場合 “0”：付与取消 “1”：加算取消 “2”：交換取消 コード支払い取消の場合 空																									
ポイントスキームコード	10	コード支払い取消の場合 “JCN0001” ポイント取消の場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)																									
カード ID 連携フラグ (※3)	1	“0”：カード ID 連携なし “1”：ポイントカード ID 要求 “2”：ポイントカード ID 連携																									
ポイントカード ID (※4)	20	連携するポイントカード ID																									

	ポイントカード有効期限 (※4)	4	連携するポイントカード有効期限またはオールスペース
	カードテーブル No. (※4)	3	連携するカードテーブル No. (※2)
service	"point"		

※1：オールスペースまたはオール"0"を指定するとスキーム選択画面が端末画面上に表示されます。ただし、ポイント ID 授受機能による ID 連携を行う場合はポイントスキームコードを指定してください。

※2：指定可能な値については日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

※3：カード ID 連携については「ポイント ID 授受機能」を参照してください。

※4：カード ID 連携フラグ="2"の場合のみ指定します。それ以外は空文字列を指定してください。

#### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1110
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	"point"
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	""
transaction_number	""
payment_condition	"other"
balance	0
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照

## DirectIO ポイント DLL・コード支払い DLL

(CT-6100 のみ対応)

ポイント DLL・コード支払い DLL を行います。

ポイントスキームコードに“JCN0001”を指定するとコード支払い DLL を実行します。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明		
command	1111		
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号		
string	以下の値を順にカンマ区切りで指定します。		
	設定値	最大桁数	説明
	ポイントスキームコード	10	コード支払いの場合 “JCN0001” ポイントの場合 使用するポイントのポイントスキームコード (※1)(※2)
service	“point”		

※1：オールスペースまたはオール“0”を指定するとスキーム選択画面が端末画面上に表示されます。ただし、ポイント ID 授受機能による ID 連携を行う場合はポイントスキームコードを指定してください。

※2：指定可能な値については日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1111
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	“point”
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	“”
transaction_number	“”
payment_condition	“other”
balance	0
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照

## DirectIO WAON 現金チャージ取消

- (CT-6100 のみ対応)
- WAON の現金チャージ 取消を行います。

### sendcommand の内容

パラメータ	説明
command	1112
data	信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号
string	メソッド実行前に以下の値を CSV 形式で設定して下さい。 1.取消金額 2.取消元 IC 通番
service	"waon"

### oncommandreply の内容

パラメータ	説明
command	1112
data	sendcommand の data パラメータで指定した値
string	sendcommand の string パラメータで指定した値
sequence	信用照会端末が管理するシーケンス番号
service	"waon"
account_number	会員番号またはカード番号の下 4 桁
settled_amount	0
slip_number	伝票番号
transaction_number	""
payment_condition	"electronic_money"
balance	カード内残高
additional_security_information	「決済実行後の additional_security_information の値」を参照

## 5.7 イベントにセットされるパラメータ

選択した決済メディアによって、Authorize 系メッセージの処理結果通知メッセージ（onauthorizesales 等）や sendcommand の処理結果通知メッセージ（oncommandreply）の各種パラメータにセットされる内容が異なります。

決済メディアと有効な結果が格納されるパラメータの対応表を以下に示します。

備考

- additional\_security\_information には、決済端末から受信したデータが格納されます。詳細は「決済実行後の additional\_security\_information の値」を参照してください。

凡例

✓：有効な結果が格納される

—：空もしくは 0 が格納される（使用不可）

□onauthorizesales の場合

service	account_number 会員番号/カード番号の下 4 桁	approval_code 承認番号 7 桁	balance 残高	kid KID (カード会社番号) 3 桁	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	settled_amount 売上合計金額 (税込)	slip_number 伝票番号 5 桁	transaction_number 処理通番 6 桁	transaction_type 取引種別	void_slip_number 取消返品対象の伝票番号
クレジット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
銀聯	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
NFC Pay	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
デビット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
クレジット/デビット(マルチ共用)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
クレジット/デビット/NFC Pay (※1)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
QUICPay	✓	—	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
iD	✓	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
nanaco	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—
交通系 IC	✓ (※3)	—	✓ (※3)	—	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
WAON	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
楽天 Edy (※2)	✓	—	✓ (※3)	—	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
QRコード決済 (※1)	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—

※1:JT-VT10 のみ。

※2:これらの要素には明細データ①の情報が格納されます。明細データ②以降のデータは additional\_security\_information に格納されます。詳細は“決済実行後の additional\_security\_information の値”を参照してください。

※3:CT-6100 かつ、CT-6100 のセルフレジモードが ON またはペーパーレスモードが有効の場合のみ。

□onauthorizevoid の場合

service	account_number 会員番号またはカード番号の 下 4 桁	approval_code 承認番号 7 桁	balance 残高	kid KID (カード会社番号) 3 桁	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	settled_amount 売上合計金額 (税込)	slip_number 伝票番号 5 桁	transaction_number 処理通番 6 桁	transaction_type 取引種別	void_slip_number 取消返品対象の伝票番号
クレジット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
銀聯	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
NFC Pay	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
デビット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
クレジット/デビット(マ ルチ共用)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
クレジット/デビット /NFC Pay (※1)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
QUICPay	✓	—	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
iD	✓	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
交通系 IC	✓ (※2)	—	✓ (※2)	—	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
WAON	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
QR コード決済(※1)	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓

※1:JT-VT10 のみ。

※2:CT-6100 かつ、CT-6100 のセルフレジモードが ON またはペーパーレスモードが有効の場合のみ。

□onauthorizerefund の場合

service	account_number 会員番号またはカード番号の 下 4 桁	approval_code 承認番号 7 桁	balance 残高	kid KID (カード会社番号) 3 桁	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	settled_amount 売上合計金額 (税込)	slip_number 伝票番号 5 桁	transaction_number 処理通番 6 桁	transaction_type 取引種別	void_slip_number 取消返品対象の伝票番号
クレジット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
NFC Pay	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
クレジット/デビット(マ ルチ共用)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓
クレジット/デビット /NFC Pay	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓

iD	✓	✓	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

□onauthorizecompletion の場合

service	account_number 会員番号またはカード番号の 下 4 桁	approval_code 承認番号 7 桁	balance 残高	kid KID (カード会社番号) 3 桁	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	settled_amount 売上合計金額 (税込)	slip_number 伝票番号 5 桁	transaction_number 処理通番 6 桁	transaction_type 取引種別	void_slip_number 取消返品対象の伝票番号
クレジット	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
クレジット/デビット(マ ルチ共用)	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—
クレジット/デビット /NFC Pay	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—

□oncashdeposit の場合 (CT-6100 のみ)

service	account_number 会員番号/カード番号の下 4 桁	balance 残高	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	slip_number 伝票番号 5 桁
WAON	✓	✓	✓	✓	✓

□oncommandreply の場合 (CT-6100 のみ)

service	account_number 会員番号/カード番号の下 4 桁	balance 残高	payment_condition 支払い方法	sequence 信用照会端末が管理する 4 桁のシーケンス番号	settled_amount 売上合計金額 (税込)	slip_number 伝票番号 5 桁	transaction_number 処理通番 6 桁
QRコード決済 (※5)	✓ (※1)	✓	✓ (※3)	✓	—	—	—
ポイント (※5)	✓ (※1)	✓ (※2)	✓ (※3)	✓	—	—	—
WAON (※4)	✓	✓	✓	✓	—	✓	—



※1:DirectIO ポイント DLL・コード決済 DLL の時は空文字。

※2:DirectIO 交換実行時のみ。

※3:常に“others”になる。

※4:DirectIO WAON 現金チャージ取消の場合。

※5: 対象の DirectIO コマンド

- DirectIO ポイント付与・コード支払い売上
- DirectIO ポイント加算
- DirectIO ポイント交換
- DirectIO ポイント取消・コード支払い取消
- DirectIO ポイント DLL・コード支払い DLL

## 5.8 決済実行後の additional\_security\_information の値

onauthorizesales、oncommandreply 等の additional\_security\_information には、信用照会端末から受信した処理結果のヘッダ部以降のデータ（カード情報や支払い明細等）がパラメータ毎にカンマで区切って格納されます。データの詳細については日本カードネットワーク様発行の POS 接続仕様書をご参照ください。POS 接続仕様書は日本カードネットワーク様にお問い合わせください。

（例）クレジット決済実行時の additional\_security\_information

0002,10,1,999,2a99661,1,XX XXXXXXXXXXXXXXXX,987654XXXXXXXXXX4321,,0001234,00000001,00000000,99999,99999999,,,,10,
--

## 5.9 デバイスベンダー定義エラーコード一覧

デバイスベンダー定義エラーコードの一覧です。

OPOS\_CODE\_XX の XX に適用されます。

エラーコード	説明
20	取引不成立（取引不可、処理未了）が発生しました
21	取引不成立（自動取消）が発生しました
22	取引不成立（通信障害）が発生しました
74	取引不成立（残高不足）が発生しました
75	取引不成立（取消金額不一致）が発生しました
90	送信コマンドエラー・電文フォーマットエラーが発生しました
91	信用照会端末起因（リセットキー等）で処理が中断されました
92	clearoutput により中断しました
95	受信データ解析不能です
96	モード不一致のため業務を実行できません。
97	日計未完了エラーが発生しました。

- （QUICPay、iD、nanaco、WAON の場合）取引不成立発生時、OPOS\_CODE\_XX の XX には各業務種別ごとのエラーコードが設定されます。エラーコードの一覧は日本カードネットワーク様発行の POS 接続仕様書をご参照ください。

## 6.ペーパーレス機能をご利用上のご注意事項

---

ペーパーレスモードにて電子マネー機能を実装する場合は、電子マネー検定の受験が必要となります。  
日本カードネットワーク様までお問い合わせください。